



坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい 夢道場・南小だより

【学校教育目標】

- やさしく (徳)
- かしこく (知)
- たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和5年5月17日
第8号 文責 鈴木 博貴

【保護者・地域の皆様へ】「自然災害に備え『力強い共助』を目指して」

ご存じの通り、南小学校は、**洪水・大地震・大規模火災**の際の「指定避難場所・指定避難所」の一つです。3年前に甚大な被害をもたらした東日本台風の検証や新型コロナウイルス感染症対策にも万全を期すために、「**学校防災マニュアル**」を見直し、改訂しました。今年度も、この「**学校防災マニュアル**」に基づき、本校職員と坂戸市防災安全課職員、坂戸市役所の南小担当・現地災害対策担当者で、避難施設・設備の確認や避難所運営の在り方の確認、防災備蓄庫の物資や災害非常通信機器の作動の確認等を実施する予定です。



物理学者・防災学者の **寺田 寅彦 氏**の言葉、「**天災は忘れた頃にやってくる**」は有名ですが、今や自然災害は「**いつ起きても不思議はない**」状況下にあります。備えを含めた「**自助**」・「**公助**」とともに、災害時のいざという時に大きな力となるのが「**共助**」。まずは、**お互いを知ることが大切です**。これまでコロナによる自粛生活を余儀なくされ地域の関係も希薄になりがちでしたが、**本校を拠点に、子供たちへのご支援を通じた同志「チーム南小」が基盤となり、「地域の皆様のふれあいの輪（和）」がさらに広がり・深まり、災害時にも「強い共助」となればと思います。**

【第1回 避難訓練・引き渡し訓練】『この世の中で、かけがえのない一番大切なものを守るために』

南っ子全員の皆さんに聞きます。「この世の中で、一番大切なものは何ですか？」
【児童たちは一斉に「命！」】 そうです。一番大切なもの。それは「命」です。自分の命はもちろん、他の人の命、全ての命。それは、学校でも同じです。皆さん一人一人全員の「この世の中にたった一つしかない、かけがえのない命」。その大切な「命」を災害から守るために行うのが「**避難訓練**」です。



今日は、「**大きな地震(震度5以上)**」が起きたことを想定しての**避難訓練**でした。しっかりと**避難経路**は確認できましたか。皆さん全員が、避難するときの合言葉『**おかしもち**』を守って、真剣に取り組みました。上級生の皆さん、改めて1年生に教えてあげましょう。



【2年生】 **お さない!** ・【3年生】 **か けない!** ・【4年生】 **し ゃべらない!**
【5年生】 **も どらない!** ・【6年生】 **ち かづかない!** (ありがとう。)

1年生の皆さん、大切な避難するときの合言葉『**おかしもち**』。小学校に入学して初めての「**避難訓練**」でしたが、しっかりと覚えてくださいね。地震や火事はいつ起きるかわかりません。訓練がしっかりできていないと、実際に起こったときに皆がパニックになり、沢山の犠牲が出てしまいます。皆さん、「もしもの時」も、今日のように**落ち着いて行動**しましょう。



【保護者の皆様へ】保護者の皆様、本日は、大規模災害を想定しての**引き渡し訓練**にご協力いただき、誠にありがとうございます。私ども教職員もお子様の大切な命をお預かりしていることを肝に銘じ、防災・防犯教育、そして、災害時や不審者等への訓練を実施してまいります。本日の引き渡し訓練を機会に、ご家庭でも様々な災害の状況を想定して、再度、親子で対応について話し合っただけければと思います。今後ともご協力をお願いいたします。



【南小学校『大地震発生時の対応』】

大地震発生【震度5弱以上】

在宅時	【自宅待機】 ○自宅待機または臨時休校となります。
登下校時	【安全な場所に一時避難、待機し、帰宅】 ①ランドセルやカバンなどで頭を守りながら塀や看板、自動販売機などの倒壊の危険のあるものから離れて安全な場所に一時避難します。 ※ 防災無線で、 震度5弱以上 が放送されたら ②揺れがおさまった後、学校または家庭に行き、安全を確保します。保護者の方は、通学路に急行してください。教職員も急行します。お知り合いの児童を保護している場合は、本校職員が地域を巡回しますので、お知らせください。 ③登校時、学校に登校したり、下校時、学校に戻ったりした場合は、学校に待機し、保護者(代理人)の迎えを待ちます。
在校時	【学校に待機し、保護者への引き渡しによる下校】 ①安全な場所で生命の安全を確保します。 ②保護者(代理人)の迎えで下校します。

※代理人とは、「引き渡しカード」に登録している方です。

【留意事項】

- (1) 在校時における保護者への引き渡しについては、学校からのメール連絡(マメール)により連絡します。しかし、連絡が付きにくい状況も想定されますので、大地震の際の震度情報等、情報発表には十分に留意してください。
- (2) 非常災害発生の場合、学校は市民の皆さんの避難所になっていますので、児童を保護者(代理人)に引き取っていただき、学校に避難する場合も考えられます。
- (3) 大地震の後の学校教育活動の再開については、校舎や通学路等の安全や学校の教育機能の回復ができた時点で判断を行い、連絡します。
- (4) 学校から帰る途中や帰宅後における大地震において、保護者の不在が予想される場合に備え、普段から、お子さんや近所同士でお話し合いをしてください。
- (5) 原則、上記の対応をしますが、状況により対応を変える場合もあります。

【地域の皆様へ】大地震発生の際の上記の内容をご理解いただき、本校児童の安全確保へのご支援・ご協力を何卒お願いいたします。

さかろんメール(坂戸市安全・安心メール)【QRコード】



【夢道場・南小『ほっとニュース』】

今年度よりCBT化!『埼玉県学力・学習状況調査』

埼玉県学力・学習状況調査が県内一斉に実施されました。昨年度、本校は児童個人の伸びが大きく見られるとともに、平均正答率も市を大幅に上回り、県でもトップレベル



でした。さらに、同時に実施する「質問紙調査」でも学習習慣や生活習慣等、学力に相関があると考えられている事項も県・市ともに上回っていることも確認できました。今年度より解答がCBT化(Computer Based Test)になり、児童たちはタブレット端末を駆使して取り組みました。今後、調査結果とともにCBT化の影響がどのように表れたかも含め、検証してまいります。

花壇ボランティア『敷地外からの景観にも心配り』

毎日のように学校花壇の整備をしてくださっている学校応援団の花壇ボランティアの皆様が、市民の方々目のにも触れる道路に面した花壇の整備も行って



きました。雑草を取り除くことから始まり、土の入れ替えや花の植え替えまでを丁寧に行ってくださいました。外の景観にも心を配り、彩りと潤いをもたらしていただき本当に有難うございます。

【花いっぱい潤いのある夢道場・南小】

本校は、ボランティアの皆様のご尽力と共に、児童による学習活動の一環による潤いある環境づくりも盛んです。本校を訪れた際には、こうした環境面もご覧いただければ幸いです。

【『南小職員の危機管理MOTTO』】

【危機管理 心構えの『さしすせそ』】

- 「さ」→最悪を想定し
- 「し」→慎重に
- 「す」→素早く
- 「せ」→誠実に
- 「そ」→組織で対応

【危機管理 行動の『さしすせそ』】

- 「さ」→最初の対応を慎重に
- 「し」→指揮系統をはっきりと
- 「す」→推測で動かない
- 「せ」→戦略と戦術を練る
- 「そ」→組織の役割分担を明確に

【校長室より】安心・安全な学校づくり～「危機管理」～

大切な子供たちを託されている校長として、何より資質が問われるのは『危機管理能力』。学校管理下で想定される危機事象には様々なものがある。それら危険に対し、不測の事態では済まされない事案も。大切な『鳥の目、虫の目、魚の目』。組織としてのリスクマネジメントとクライシスマネジメントを徹底し、事故に対する未然防止策に努めるとともに、児童自らの危険回避能力の育成を図っていく所存である。